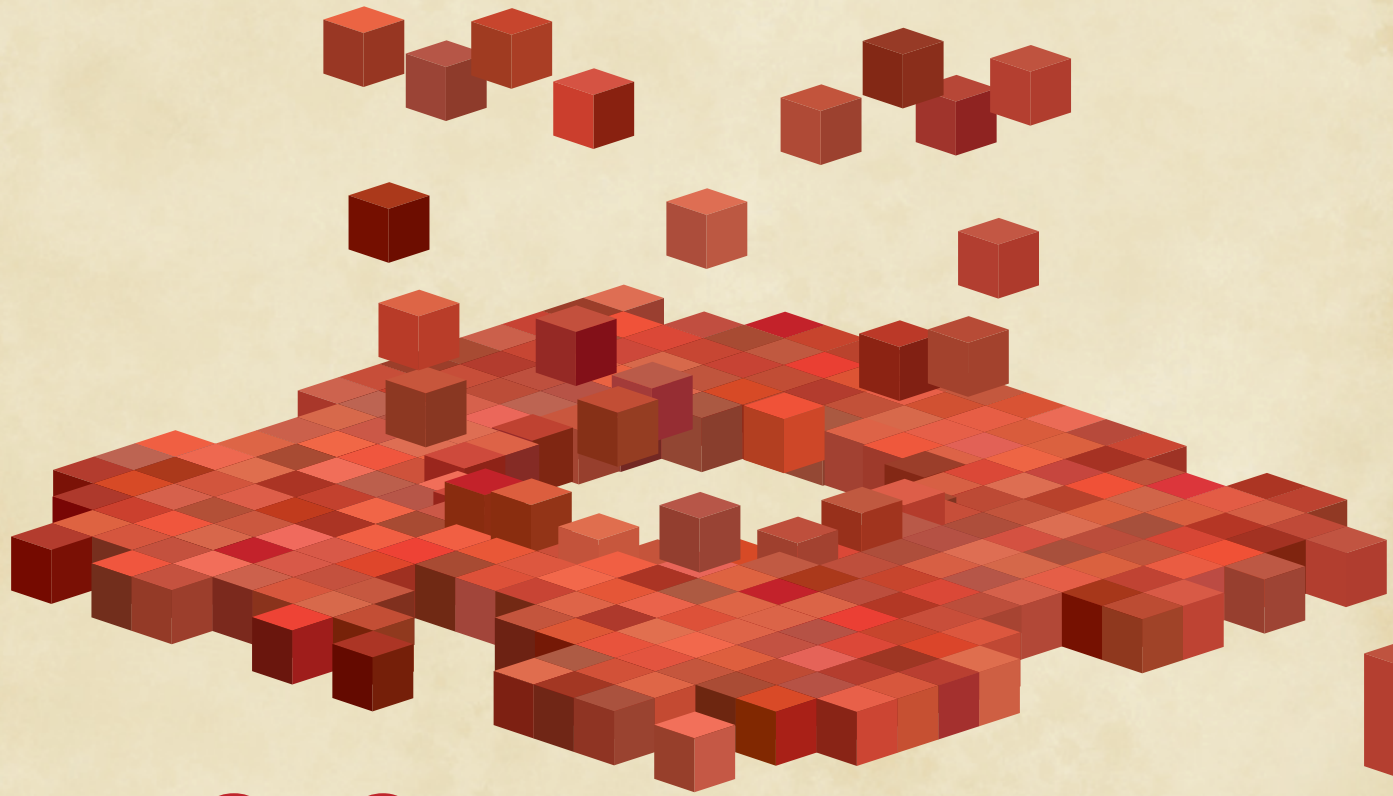


# 三の 三敬沢 の 資料学

## —— 日常史の構築 ——

Shibusawa Keizo and his Cultural Material Studies: Toward a Construction of History of Daily Life



2014. 3 / 9 (日)

10:00 – 17:20 [事前申込不要]

神奈川大学横浜キャンパス  
16号館視聴覚ホールB

参加  
無料

国際常民文化研究機構は、いつの時代、いつの地域においても大多数を占める普通の人々、“常民”の暮らしを対象とする資料論、分析視角や方法を、日本常民文化研究所と附属の非文字資料研究センターの所蔵する史・資料とデータベースを研究者コミュニティに公開・共有化し、さらに国際的に拡大、深化させるために設立されました。

本年は機構事業の総括の年であり、また、日本常民文化研究所の創設者・渋沢敬三没後50年の記念すべき年でもあります。そこで、“常民”概念、諸民族の生活文化を捉える民具をはじめとする諸資料を総合する資料学の有効性を検証し、グローバル化した今日、人々の相互理解を図るための世界常民学とも称すべき方向性を探り、併せてわが国で培われた学問の国際的有効性を問う機会にしたいと考えます。

【お問合せ先】 神奈川大学 国際常民文化研究機構 事務局

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1 Tel: 045-481-5661(代表) Fax: 045-481-3155

Email: office-folk@kanagawa-u.ac.jp URL <http://icfcs.kanagawa-u.ac.jp/>

主催：国際常民文化研究機構・神奈川大学日本常民文化研究所

後援：日本学術会議 | 渋沢敬三記念事業実行委員会 | 地方史研究協議会 | 日本文化人類学会 | 日本民具学会 | 日本民俗学会 | 国文学研究資料館 | 国立民族学博物館 | 国立歴史民俗博物館 | 日本言語学会 | 日本社会学会 | 日本宗教学会 | 日本人類学会



Textura Culturæ



# 渋沢敬三の資料学 ― 日常史の構築 ―

Shibusawa Keizo and his Cultural Material Studies: Toward a Construction of History of Daily Life

開会挨拶：石積 勝（神奈川大学 学長）  
趣旨説明：佐野 賢治（神奈川大学日本常民文化研究所）

【総合司会】 廣田 律子（神奈川大学日本常民文化研究所）

**基調講演** 10:15—11:15

「ヨーロッパにおける日本関係コレクション ― 美術・工芸から民具へ ―」  
ヨーゼフ・クライナー（ボン大学 名誉教授）

**パネル報告** 11:15—16:00

「伝統的農具にみる中国農民史」  
曹幸穂（中国農業博物館 農業史研究所 前所長）

「お札の世界―世界のお札」  
ジョセフ・キブルツ（フランス国立科学研究センター）

「映像に見る常民生活の伝統と再生」  
宮本 瑞夫（宮本記念財団）

「音盤に聴く東アジアの音楽交流―日本コロムビア外地録音資料を例に―」  
福岡 正太（国立民族学博物館）

「農村の生活文化調査と持続的な記録の必要性」  
―全羅南道長興郡上金マウルの事例を中心に―  
崔順権（韓国国立民俗博物館）

**総合討論** 16:15—17:15

コメントおよび総合討論：崔吉城（東亜大学）  
佐藤 健二（東京大学）

閉会挨拶：前田 禎彦（神奈川大学日本常民文化研究所 所長）

## 国際常民文化研究機構 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1  
Tel: 045-481-5661 (代) Fax: 045-481-3155  
Email: office-folk@kanagawa-u.ac.jp  
http://icfcs.kanagawa-u.ac.jp/

- 東急東横線「白楽駅」下車 徒歩 13 分
  - 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用（東神奈川駅西口経由 約 15 分）
  - 【1 番乗場 36 系統】 菅田町 / 緑車庫行「神奈川大学入口」下車
  - 【1 番乗場 82 系統】 八反橋 / 神大寺入口行「神奈川大学入口」下車
  - 横浜市営地下鉄片倉町駅前より横浜市営バス利用
  - 【2 番乗場 36・82 系統】 東神奈川駅西口 / 横浜駅西口行「神奈川大学入口」下車
- ※駐車場がありませんので、自家用車の利用はご遠慮ください。

